

井原市公共交通会議（平成 28 年度第 2 回）議事録

と き 平成 28 年 7 月 22 日（金）

15 : 00～16 : 30

ところ 井原市民会館 鏡獅子の間

1. 開 会

会議の成立を報告

- ・ 出席者 委員 25 名中 22 名（実出席 21 名、代理出席 1 名）

2. 協 議

1) 路線・ダイヤの見直しについて

・事務局説明

(三宅会長) 委員の皆さんから、ご質問等はないか。

(委 員) 運行を委託するタクシー事業者は決定しているのか。

(事務局) 今後、見積り合せを行い決定することになる。美星地区にはタクシー事業者が存在しないため、井原地区の営業所・車庫から向かうことになる。

(委 員) 美星地区のスクールバス水名・明治線の運行経路を短縮し予約型乗合タクシーを導入することについて、当該路線の一般利用者はどの程度いるのか。予約型乗合タクシーに切り替えた場合、利用者が多く車両に乗りきれないという恐れはないか。

(事務局) スクールバス水名・明治線の年間運行回数と利用者数（児童・生徒を除く）は、平成 28 年 4 月～6 月の実績で運行回数 149 回中、利用人数は 3 人、H27 年度の実績で運行回数 550 回中、利用人数は 43 人であった。短縮する区間における乗降人員は把握できていない。

(委 員) 予約型乗合タクシーの運行拡大により、「公共交通てくてくエリア」の人口カバー率はどの程度変化するのか。

(事務局) 面的には拡大するが、人口・世帯数が少ないため、上昇率としては 0.1 ポイントにとどまり、カバー率は 90.1%になる。

(三宅会長) 予約型乗合タクシー運行拡大地域の住民を対象に、アンケート調査と住民説明会を実施したということがだが、スクールバスの経路を短縮して予約型乗合タクシーを導入することについて、住民から寄せられた意見があれば紹介してほしい。スクールバスを日常的に利用しているので、残してほしいという意見は無かったか。

(事務局) スクールバスについては、幼児・児童のいない集落を毎日遠回りするのは子どもたちが気の毒なので、了解したという反応であった。また、予約型乗合タクシーの運行拡大については、自宅の前で乗り降りできるので助かるという意見があった。

なお、水名地区の住民から、距離的に近い高梁市成羽地域に行きたいという声が少なからず寄せられた。成羽地域への移動の際には、水名地区を火・金曜日に経由している高梁市生活福祉バスを利用してもらうことになる。

(三宅会長) 公共交通については井原市が高梁市に一部お世話になっているところであるが、井原市の美星簡易水道を高梁市に供給していること等、お互いにお世話になっているところである。

(三宅会長) 委員の皆さんから、他にご質問等はないか。
ご質問等がなければ、原案のとおり承認してよいか。

全員が挙手（協議事項承認）

2) 嫁いらず観音線・馬越恭平線（いばらサンサン交流館経由便）の運行経路について

(三宅会長) 委員の皆さんから、ご質問等はないか。

(委 員) 当該路線の新橋・昭和橋周辺の運行経路の周辺において、橋梁改修や河川改修の予定はないか。

(三宅会長) 現時点で予定はない。

(委 員) 幅員の広い道路を経由するのが、より安全であるという観点で考えると、細い道を通る C 案（代替ルート 2）よりも、B 案（代替ルート 1）の方が適しているのではないか。

(委 員) 各案は一長一短があるが、いばらサンサン交流館を利用する方の立場で考えると、いばらサンサン交流館を先に経由してから井原町内を経由する B 案は、向町の住民がいばらサンサン交流館へ行く際にバスが利用できないため、賛同しづらい。

また、安全性という観点でも、新橋北詰を 3 回、昭和橋北詰を 2 回経由する B 案は、現行の A 案（現行ルート）に比べても危険性が高まるのではないか。

いばらサンサン交流館方面から来るバスが新橋北詰を左折する際、対向車が来た場合にすれ違いが困難であることは事実である。しかしながら、そうした箇所はここだけでなく、同じ井原町内に限っても何か所もある。今回、仮に経路を変更した場合、他の場所について同様の指摘があったときにどのように対応するのか。私は、現行の A 案を採用し、バスの乗務員には今まで以上に十分注意して運転してもらうのが最善であると考えている。

(委 員) 交通事業者としての立場から申し上げますと、幅員の狭い道路をバスが左折する際に少しふくらんでしまうのは避けられない部分がある。

また、B 案、C 案のいずれも、1 車線の道路から 2 車線の国道 313 号に出て行く経路であるが、特に、昭和橋北詰を右折して、交通量の多い国道 313 号に合流する B 案は危険性が高い。運転者としてはできるだけ避けたいところである。

また、新橋北詰の交差点は見通しがよく、南詰から北詰に向かって橋を渡ってくる車両をバスから容易に確認できる。交差点の手前には停止線も設置されている。こうしたことから、私も、現行の A 案で問題ないと考えている。

(委 員) 交通安全についての学識経験を有す者としての立場から申し上げます。
新橋北詰交差点は、交差点に向かって緩やかな上り勾配があり、運転しづ

らい箇所である。また、先ほどの意見のとおり、東側からの見通しはよいが、西角に住宅があるため、西側からの見通しは悪くなっている。この交差点において危険なのは、南西方向から来る車と、北西方向から来る車が衝突する場合であり、南西方向と北西方向から交差点に進入する回数をできるだけ少なくすることが望ましい。この場合、進入回数が1回であるA案及びC案に比べ、2回であるB案の危険性は高いと言える。

また、先ほどの意見のとおり、B案は昭和橋北詰を右折して国道313号に合流することになる。事故のリスクを考えると、交差点を通過する回数をできるだけ少なくすることが望ましいため、通過回数の多いB案、C案はA案に比べて危険性が高いと言える。

こうしたことから、交通安全という観点では、現行のA案が特別に危険であるということはない。停止線でしっかりと停止して、低速で走行すれば、事故が起きる可能性は低いと考えられる。

(委員) 警察として、事故の発生状況について補足すると、新橋北詰交差点において、軽傷・重症以上の人身事故は発生していない。ここからは私の意見であるが、国道313号を右折することは危険性が高く、B案は避けるべきである。また、交差点の手前で一時停止する回数を少なくすることが望ましいため、一時停止が3回必要なC案に比べて、危険性は現行のA案の方が低いと言える。これらのことから、現行のA案が最適であり、以下、C案、B案の順であると考えられる。

(三宅会長) 本件は、新橋北詰交差点の近隣の住民から、バスの経路について、あらためて考えてみてはどうかという意見をいただいたことを受けたものである。この会議の場で様々な観点から意見をいただき、最適な方法を考えたい。

(三宅会長) 委員の皆さんから、他に質問等はないか。
ご質問等がなければ、様々な意見がある中、全体としてはA案を推す意見が多数であったことを踏まえ、井原市公共交通会議としては、A案を推薦することとしてよいか。

全員が挙手（A案を推薦することについて承認）

3. その他

(三宅会長) 委員の皆さんから、他にご意見等はないか。

(委員) 3点、意見と感想を申し上げたい。

1点目は、ハローズ井原店前のバス停の待合設備についてである。先日、強い日差しのもと、汗を拭きながら立ったままバスを待っている年配の方を見かけた。当該バス停にベンチを設置してはどうか。

2点目は、井原バスセンターの近くに移転新築した井原市立高校へのバスでの通学についてである。井原地区の井原あいあいバス沿線の住民から、バスでは通学しにくいという意見を聞いたことがあり、確認してほしい。

3点目は、毎年10月に開催している「公共交通祭り」についてである。子

- どもだけでなく、大人向けの「バスの乗り方教室」を開催してはどうか。
- (事務局) 1 点目については、本年度から実施している「バス停サポーター制度」を活用して、近隣の事業所等と連携したベンチの設置を検討したい。なお、同制度については、現時点で 1 件の応募があり、設置に向けた調整を進めているところである。
- 2 点目については、昨年の 4 月から、井原あいあいバスの全便が井原バスセンターを経由するようになっている。一方で、市立高校の教育方針として、井原駅と学校との間は徒歩での通学を指導していると聞いている。学校に確認した上で、必要であれば対応したい。
- 3 点目については、去年は大人の参加が無かったため、今年は、大人にも参加してもらえるよう工夫したい。
- (委員) バス停にベンチが設置されたら、そのことを住民に広く周知してほしい。
- (委員) 私は、近隣の住民を自家用車で運んであげることがたまにあるが、予約型乗合タクシーの利用方法を詳しく教えてもらえないか。自宅と目的地の間も自由に乗り降りできるのか。
- (事務局) 目的地側は、乗り降り可能な場所や区間があらかじめ決まっている。また、自宅と目的地との間で自由に乗り降りすることはできない。
- (委員) 先ほどの議題について、新橋北詰交差点に信号機を設置することはできないか。
- (三宅会長) 全県的に見て、特に優先度の高い場所から設置されているものと考えている。多くの住民の方が設置を要望すれば、そのような方向で検討することになるのではないか。
- (委員) 岡山県では、7 月 20 日から 11 月 30 日まで、「ぐるりおかやまローカル鉄道の旅スタンプラリー」を開催している。また、スタンプラリーの開催にあわせて、本日、参考までにお配りしている「ぐるりおかやまローカル鉄道の旅ガイドマップ」を作成し、ローカル鉄道の利用を呼び掛けている。井原駅はスタンプラリーのスタンプ設置場所にもなっているので、お知り合いの方に、公共交通を利用したおでかけをぜひ PR していただきたい。

4. 閉 会

以上